



第7期 株主通信

2021年1月1日~12月31日

BUSINESS REPORT



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

We Craft Your Imagination.

お客さまのご要望にお応えし、クリエイティブの制作から配信まで ワンストップサービスでご提供いたします。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、株式会社日本創発グループ 第7期(2021年1月1日～2021年12月31日)の事業の概要につきましてご報告申し上げます。

当連結累計年度では、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的として、度重なる緊急事態宣言の発令がありました。各種イベント等の延期・中止、商業施設や飲食店の一部営業制限等により、クリエイティブサービスを事業の軸とする当社企業グループも影響を受け、販促ツール等の受注が減少いたしました。一方で、東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う掲示物等や、コロナ禍での社会生活に即したサービス消費に対応する案件等、社会の状況に合わせて、制作物の需要増加に積極的に取り組んできました。同時に、アプリケーション・WEB、バーチャル展示会のご提案や、新たに開設したXRスタジオの利用、先行的に開発をしてきたメタバースを含むデジタルツールの活用提案も積極的に進めてまいりました。

これらの結果により、当連結会計年度における業績は、売上高546億20百万円(前期比6.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億51百万円(前期は17百万円)となりました。また第3四半期からは0.25円ずつの増配を実施し、年間配当を10.5円とさせていただきます。

私たちは、今後も社会の変化に柔軟に対応し、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、お客さまにとって必要不可欠な存在であり続けたいと考えています。そのためにも、クリエイティブサービス事業を中心としたビジネス展開を積極的に推進し、株主のみなさまのご期待に応えるべく、一段と努力してまいります。

みなさまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2022年3月

代表取締役社長 藤田 一郎

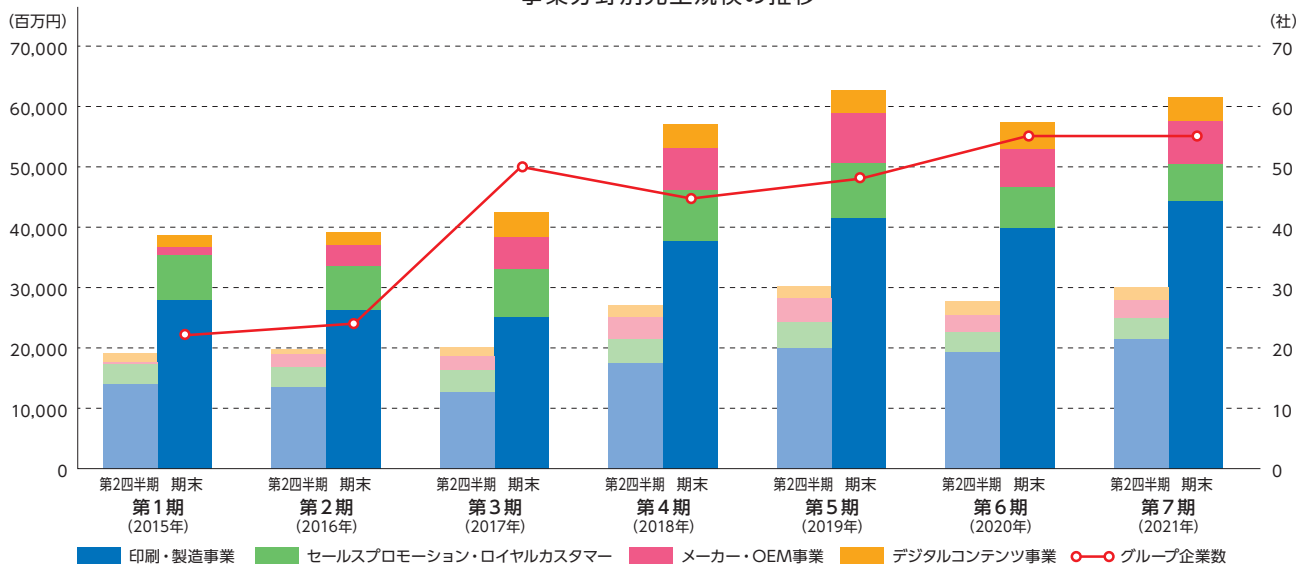
コロナ禍による事業環境の変化

当連結累計年度におきましては、新型コロナウイルス感染者数の急増を受けて緊急事態宣言等が再三発令され、一時は医療体制がひっ迫するまでの状況となりましたが、感染予防ワクチンの接種が進むのと平行して、経済活動の継続について対応が進められました。人との接触をできる限り避けながらも、相互理解の質を担保するため、多くの企業においてリモートワークや、WEBミーティングなどインターネット技術を利用したコミュニケーション手段の活用が拡大しました。また、テレビ放送に代表されるマスメディアにおいても、SNSやYouTube、さらには、出演者がZoomやTeamsなどで番組内にリモート参加することも日常化しました。また、電子書籍を含めた出版物は2020年前年比4.8%の2年連続のプラス成長となっています。紙の出版物が1%の増加に対して、電子出版が28%といわ

ゆる巣ごもり需要に加えてスマートフォンなどデバイスの普及が大きく影響していると考えられます。

当社企業グループにおいては、コロナ禍での社会生活に則したサービス消費への対応を目的とした販売促進ツールの需要拡大、その制作に向けた企画提案などに積極的に取り組んでまいりました。また、緊急事態宣言の解除後に再開された各種イベントや催事などに向け感染防止を目的としたアクリル板やソーシャルディスタンスを守るための床面シールを含めた販売促進ツールなどの需要増加に対応するとともに、アプリケーション・WEB、バーチャル展示会など、今期東京都港区芝に開設したXRスタジオの利用や、先行的に開発を進めていたメタバース(仮想空間)を含めたデジタルツールの活用提案を積極的に進めてまいりました。

事業分野別売上規模の推移

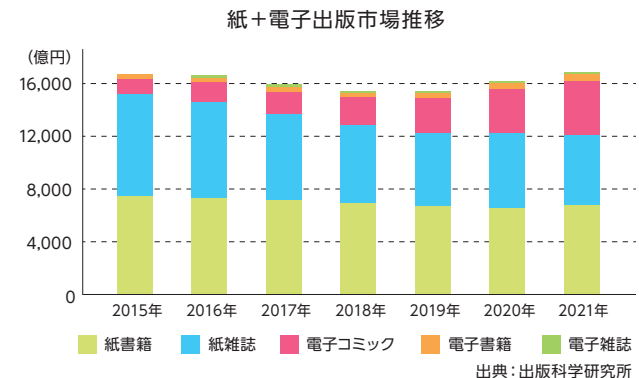


※グラフの値はグループ各社の売り上げを単純合計したものです。

新しい社会様式に合わせたグループ編成

印刷製造に関する日本のマーケット規模は、約4兆8000億円*とされていますが、年々減少傾向にあります。減少しながらも大きな需要があるマーケットであり、お客さまから、表現力豊かでより付加価値の高い技術を使用した印刷物が求められると想定しています。また印刷物での表現のみならず、IoT技術も応用したスマートフォンのアプリケーションとのデータ連携など電子的なツールとの組み合わせも、高速通信規格やデバイスの進化とともに普及が進んでいます。今後は、VR・ARなどの表現リアリティ向上とともに利用機会が拡大するなど需要が増加することが期待されています。

コロナ禍への対応による新しい社会様式は、人との接触を回避しながらこれまでと同様にコミュニケーションや、経済活動などを維持するため、SNSやWEBなどを通してさまざまな情報を入手することや、友人とのコミュニケーションにSNSサービスを積極的に利用する機会がこれまでになく増加しました。情報機器、情報ツールの技術向上とともに、電子メディアに関する心理的な



ハードルをさげることになったことで、さらに電子的な表現手段とメディアの多様化が広がるものと考えています。

当社企業グループには、お客さまの創造性を確かなカタチとするために、M&Aや事業統合などのスキームも活用し、引き続き事業拡大と企業価値の向上を追求していきたくと考えています。

※経済産業省(2018年「工業統計」)



配信も可能で広大な
XR制作空間「SHIBA studio」



メディアによるオンライン動画配信や
リアルイベント運営



DTPデータからタブレット、
電子書籍への展開

クリエイティブサービス事業はセカンドステージへ ～印刷製造事業とメディア関連事業の強化～

当社企業グループにおける印刷製造事業は、売上、利益ともに大きな比重を占めている主力事業です。印刷にかかわるデザイン力の強化、小ロットのオンデマンド印刷から、写真集などの美術系にも対応する枚葉印刷、大量の印刷物を製造する輪転印刷まで多種多様な印刷方式に対応しています。また、紙への印刷だけではなくPPやビニール、金属、布地などを含む特殊素材への印刷や、印刷後の表面加工や製本工程に至るまでをグループ企業でその多くをカバーすることができます。印刷物の社会的なニーズは依然として多いものの、その内容は年々特殊性を求められる傾向にあり、M&Aによる新たな技術や顧客の獲得など専門性の高いグループ企業の集合体である特性を活かし、各社事業所や設備と人員配置の見直しを行うことで、収益性の高い印刷製造事業として常に優位性を高めています。

当連結会計年度においては、印刷製造事業関連の機能強化として、グラビア印刷と製袋技術を持つ株式会社リングストーン、出版社向けDTP業務を行っている株式会社アド・クレール、そして製本専業として国内有数規模の設備を持つ飯島製本株式会社がグループに参画しました。

当社企業グループは、お客さまの創造性を確かなカタチにするお手伝いをする企業グループとして、それぞれの専門性を追及しております。新しい社会様式では、クリエイティブコンテンツの製造・制作のみならず、それをお届けするメディアの多様化にも対応する必要があります。各種イベントの企画提案からその開催運営や、そのイベントをリアルに開催するだけではなく、WEB・SNSを含めたデジタルメディアでの告知も活用しその利用状況の効果測定に基づく運営改善コンサルティングまでトータルにサポートし、より効果的にお客さまのご要望にお応えすることが可能です。当社企業グループは、雑誌などの出版物、WEB・アプリケーションなどのメディアも保有しており、お客さまご自身でご利用のメディアと組み合わせた活用方法をご提案することができることは、きわめてユニークな存在であります。

2021年はメディア配信技術の強化として、映像・音響システムの企画・設計・施工を手掛けるジャパンブロードキャストソリューションズ株式会社が参画しました。さらに2022年は、株式会社ダイヤモンドヘッズ、株式会社パークインスタイルを連結子会社とするとともに、株式会社ワン・パブリッシングの出資比率を高め連結子会社とし、クリエイティブサービス事業のさらなる拡大に取り組んでまいります。

■企画から制作・メディア運用までのワンストップサービス



日本創発グループの環境保護に対する取り組み

地球規模のカーボンニュートラルの実現に向けた動き、データ活用の進展など、多くの国で取組みを強化するなか、日本政府から新たな技術を活用し、全ての人々が生きがいを感じられる新しい社会を創り上げていく方針が掲げられています*。特に、気候変動は人類共通の課題であり、日本創発グループにおいても、地球環境保護に取り組むとともに、環境負荷削減に貢献できる商材の開発や販売を積極的に推進しています。

株式会社プレシーズは、企業のSDGs浸透支援ツールとして、2018年に「SDGsゲーム(企業版)」を、2021年に創業100周年企画として「SDGs本」を、アライアンス先と提携して制作しました。子どもから大人までSDGsの意義をわかりやすく伝え、SDGsを自分事として取り組めるツールとしてご好評をいただいています。また、「SDGs本」を使って都内中学校へ出前授業を行い、「地域社会への貢献」「ESD(持続可能な開発のための教育)支援」に取り組んでいます。

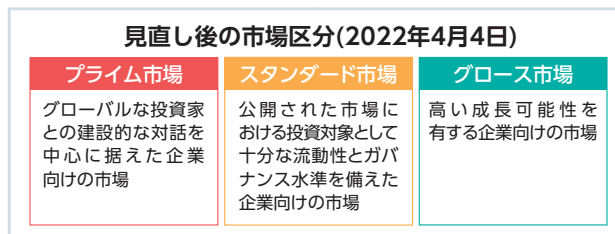
*SDGsアクションプラン2022

東証スタンダード市場

東京証券取引所が運営する株式市場は現在の東証1部、東証2部、マザーズ、JASDAQスタンダード、JASDAQグロースの5市場で運営されていますが、2022年4月4日よりプライム市場、スタンダード市場、グロース市場の3つの市場に再編されます。

当社は、新市場区分における「スタンダード市場」の上場維持基準を選択し、本年1月11日東京証券取引所より申請の通り認められました。

今後とも、事業拡大とガバナンス体制の一層の強化に努め、企業価値の向上に努めてまいります。





2021年1月持分法/2022年1月連結子会社

 株式会社 小西印刷所

株式会社小西印刷所

商業印刷および付帯サービス

兵庫県西宮市今津西浜町2-60

<https://www.konishi-p.co.jp/>

連結子会社 議決権比率:100%

兵庫県西宮市で1926(大正15)年に創業、同市内最大規模を誇る総合印刷会社です。ドイツ製の新鋭印刷機を国内で最初に導入するなど進取の精神は創業以来のもの。長期にわたる優良な企業さまとの取引実績がこれまでに培ってきた信頼関係を裏付けております。長年築き上げてきた印刷技術や情報テクノロジーを

基盤にシステム構築・WEB・動画作成や販促・プロモーション企画の運営・制作など、「印刷」の枠を超えた「総合サービス」の提供を標榜しており、当社企業グループの多彩なリソースをブレンドすることで、今までにないアイデアやワンストップサービスの実現を目指します。



藤岡工場(愛知県)



嵐山工場(埼玉県)



東郷工場(愛知県)



八尾工場(大阪府)



恵那工場(岐阜県)

2021年7月持分法

 飯島製本株式会社

飯島製本株式会社

製本全般(無線綴・中綴・
カレンダー製本・リング製本・
特殊折加工)

名古屋市長栄区高社1-86

<http://www.ijimabb.com/>

持分法適用関連会社 議決権比率:21.6%

100周年を迎えた(創業1921年)独立資本経営では日本で最大規模の総合製本会社です。名古屋市に本社を置き、中京圏の3工場に加え、関東圏、関西圏にも各1工場を有して広域なエリアをカバーするほか、他社に抜きんできた製造設備によって業界トップレベルの生産能力を保持しております。

当社企業グループのソリューションと同社のインフラ設備やノウハウなどを融合させることで、互いに商材の付加価値の向上を狙うとともに、物流を含む生産効率のアップ、商圏の拡大、そして幅広いサービス展開を目指して取り組みを強化してまいります。

新規グループ参画会社紹介



2021年4月持分法



株式会社リングストン

包装資材および販促商品の企画・製造・販売

東京都江東区亀戸6-1-10

<http://www.ringston.co.jp/>

持分法適用関連会社 議決権比率:37%

1971年12月設立。ファッションバックを中心に包装資材、パッケージ、販促商品など、合成樹脂製品の企画・開発・製造・販売を行っております。茨城県行方市の自社工場は、約8,000坪の敷地にグラビア印刷機、各種自動製袋機を備えた4つの工場棟と、製品倉庫、社員寮を配し、デザインから印刷・製袋・加工・デリ

バリーまでの自社一貫生産体制を構築するほか、海外協力工場とも連携し、お客さまの柔軟なニーズと短納期に対応しております。当社企業グループとの親和性も高く、互いのソリューションを融合することで新たなシナジー効果の創出を見込んでおります。



2021年4月参画



株式会社アド・クレール

グラフィック エディトリアルデザイン・DTP製作

東京都千代田区神田神保町3-7-4

<https://www.adclair.co.jp/>

持分法適用外関連会社 議決権比率:100%

1978年に写植版下製作会社として創業。以来時々の最新設備を積極的に取り入れながらオリジナルの企画に基づき、新しい見地から必要とされる印刷物や資料を作成、企業の広報活動やパブリックリレーションのためのツール作りをお手伝いすることで、多くのお客さまからの信頼を得て事業を拡大してきました。

長年培ってきた美しい組版、プログラミングによる半自動処理、そしてWEBや電子書籍への展開などを強みにお客さまのニーズにお応えしております。当社企業グループへの参画を機に、より付加価値の高いサービスの提供、事業の効率化、企業価値の向上に努めてまいります。



2022年4月連結子会社


DIAMOND HEADS

株式会社ダイヤモンドヘッズ

クリエイティブ制作

東京都港区南青山6-15-6

<https://www.heads.co.jp/>

4月より連結子会社(予定) 議決権比率:100%

1982年の会社設立以来、ブランディング、アドバイジング、プロモーション、エディトリアルなど、さまざまなデザインを手掛けてきました。その経験を活かし、コーポレートやプロダクトのブランド戦略を立案、効果的なコミュニケーションを設計します。デザインコンセプトに基づいた、グラフィック、WEB、ムービーなど、ジャンルを問わずビジュアル全般にわたるクオリティの高い表現を生み出すことで、クライアントと世の中をつなげていきます。



2022年4月連結子会社

BARK IN STYLE

株式会社パークインスタイル

モデルマネジメント・イベント企画運営

東京都渋谷区神南1-15-1

<https://barkinstyle.jp/>

4月より連結子会社(予定) 議決権比率:100%

さまざまなモデル・タレント・アスリートが所属するマネジメントオフィスです。国内外のメンズ・レディースモデルが所属し、ファッションを中心にCMや雑誌、ショーなどのさまざまな媒体で活躍しています。海外コネクションも強く、ヨーロッパ、アジア諸国へのプロモーションも展開しています。今後はファッション以外の分野でも、動画・イベントなど表現領域を広げていきます。



2022年4月連結子会社合併


funbox

株式会社funbox

ガチャ・カプセルトイ販売レンタル

ファンシー・キャラクター文具、雑貨の企画・製造

東京都港区芝2-1-28 芝アネックスビル7F

連結子会社 議決権比率:99%

当社の連結子会社である株式会社サカモトと、同じく連結子会社である株式会社あみューズは、本年4月1日合併し、社名を株式会社funboxに変更いたします。

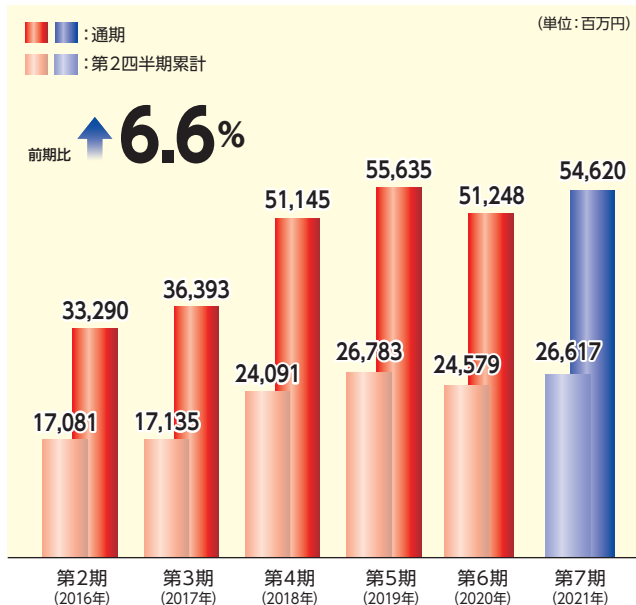
創業来多くのユニークなアイデアを盛り込んだ筆記用具などを企画開発・製造、販売してきたサカモトと、カプセル自販機(ガチャマシン)とカプセルトイの製造・卸会社として、ガチャを

使った販促イベントを企画提供するあみューズが合併し「ワクワク楽しいモノづくり」をする会社としてスタートします。

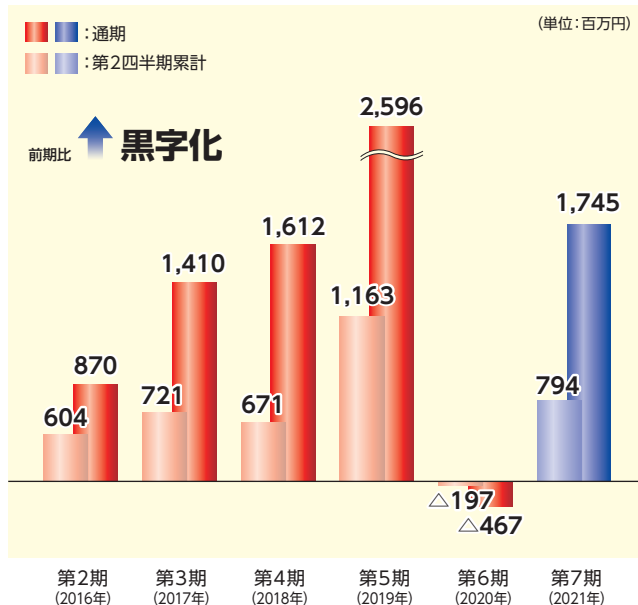
本社は東京都港区芝、事業拠点は旧あみューズ本社である愛知県刈谷市と、大阪支店として大阪市西区南堀江の3か所と、インターネット販売により、世界中のお客さまにむけ、笑顔になれるユニークな商品とサービスをご提供します。

連結業績ハイライト

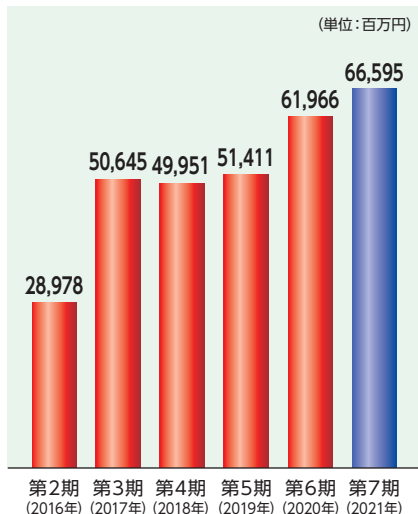
◆ 売上高



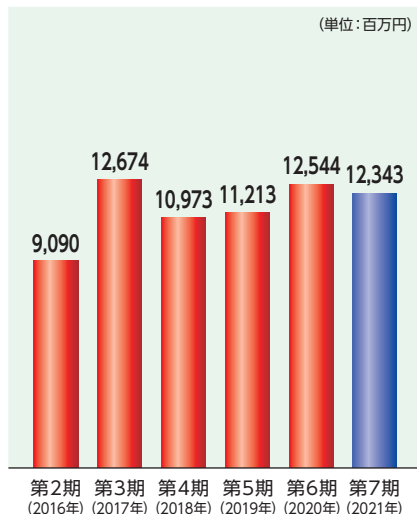
◆ 営業利益



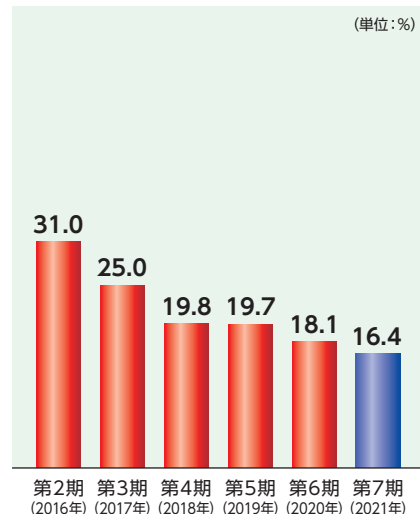
◆ 総資産



◆ 純資産

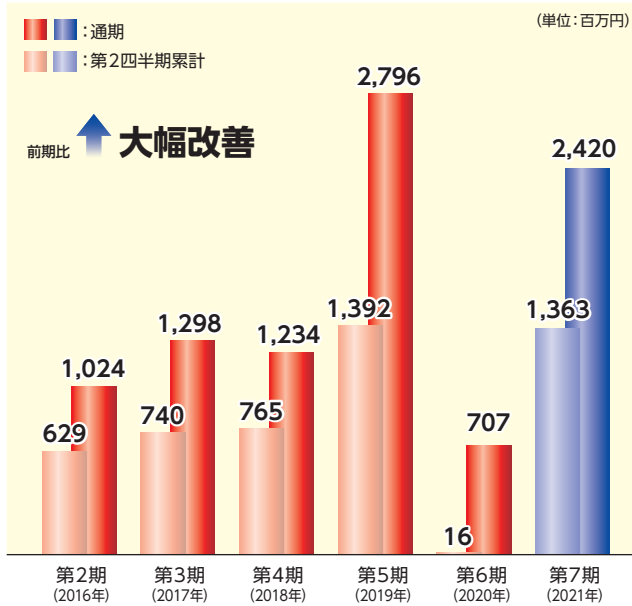


◆ 自己資本比率

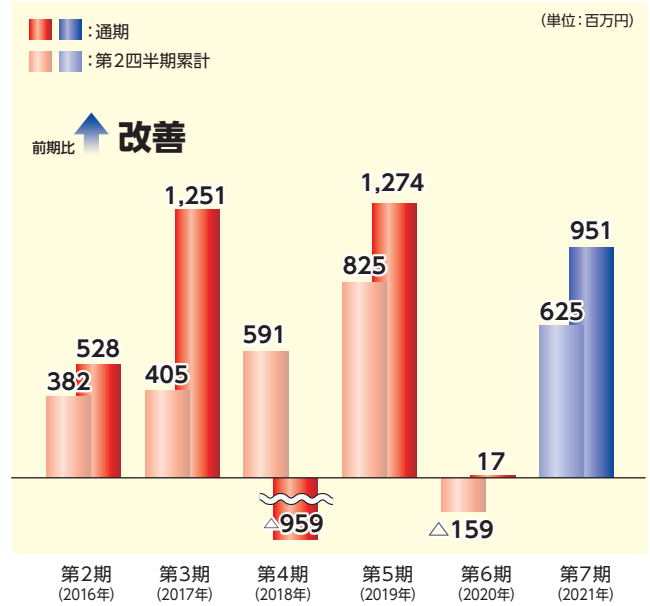


※ 第5期より、「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行ったため、第4期の総資産については当該変更を反映した遡及修正を行っております。

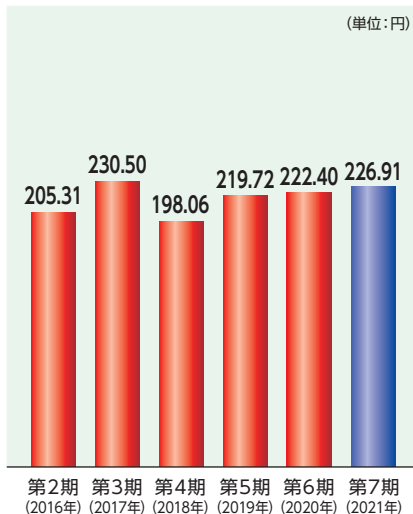
◆ 経常利益



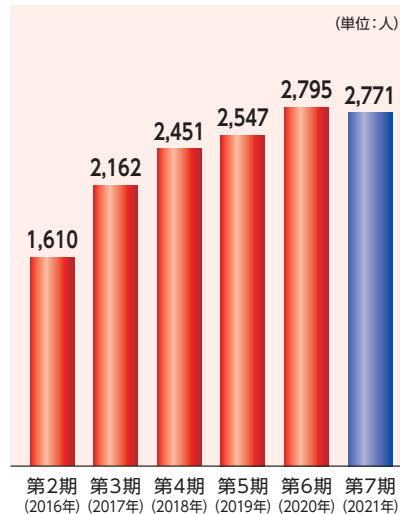
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益



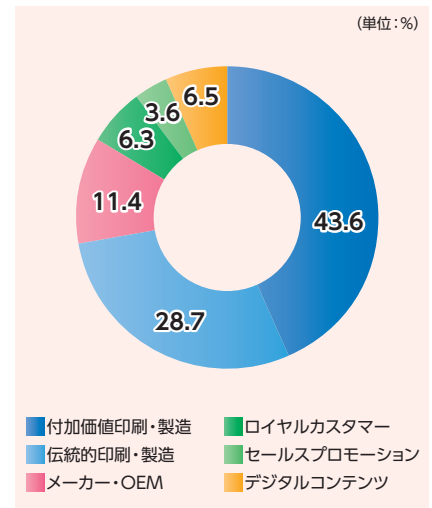
◆ 1株当たり純資産



◆ 従業員数



◆ 売上構成比



※ 2020年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。第2期期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

連結財務諸表

◆ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期		当期		科目	前期		当期	
	2020年12月31日現在		2021年12月31日現在			2020年12月31日現在		2021年12月31日現在	
(資産の部)					(負債の部)				
流動資産	31,477		28,375		流動負債	40,278		39,877	
現金及び預金	14,482		12,231		買掛金	3,619		3,825	
受取手形及び売掛金	10,308		10,328		短期借入金	31,000		27,000	
短期貸付金	1,994		1,062		その他	5,658		9,052	
その他	4,691		4,753		固定負債	9,144		14,374	
固定資産	30,489		38,220		長期借入金	5,900		11,250	
有形固定資産	22,887		25,035		退職給付に係る負債	1,108		1,235	
建物及び構築物	6,439		6,341		その他	2,135		1,888	
機械装置及び運搬具	2,856		2,257		負債合計	49,422		54,251	
土地	13,165		14,583		(純資産の部)				
その他	425		1,853		株主資本	11,143		10,803	
無形固定資産	1,089		961		資本金	400		400	
のれん	257		127		資本剰余金	5,518		5,530	
その他	832		833		利益剰余金	6,345		6,725	
投資その他の資産	6,511		12,224		自己株式	△1,120		△1,852	
投資有価証券	3,899		4,588		その他の包括利益	82		143	
その他	2,612		7,635		累計額合計				
資産合計	61,966		66,595		非支配株主持分	1,318		1,397	
					純資産合計	12,544		12,343	
					負債及び純資産合計	61,966		66,595	

◆ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2020年1月1日から 2020年12月31日まで	2021年1月1日から 2021年12月31日まで
売上高	51,248	54,620
売上原価	38,121	39,576
売上総利益	13,127	15,044
販売費及び一般管理費	13,594	13,299
営業利益	△ 467	1,745
営業外収益	1,482	1,355
営業外費用	307	680
経常利益	707	2,420
特別利益	246	287
特別損益	472	801
税金等調整前当期純利益	481	1,906
法人税等	379	887
非支配株主に帰属する当期純利益	84	66
親会社株主に帰属する当期純利益	17	951

◆ 連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2020年1月1日から 2020年12月31日まで	2021年1月1日から 2021年12月31日まで
当期純利益	101	1,018
その他有価証券評価差額分	△ 60	80
繰延ヘッジ損益	△ 1	1
退職給付に係る調整額	12	△ 2
その他	△ 0	△ 4
その他の包括利益合計	△ 48	73
包括利益	52	1,092

◆ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2020年1月1日から 2020年12月31日まで	2021年1月1日から 2021年12月31日まで
営業活動によるキャッシュフロー	3,086	4,674
投資活動によるキャッシュフロー	△ 3,272	△ 8,420
財務活動によるキャッシュフロー	7,540	1,489
現金及び現金同等物の増減額	7,352	△ 2,257
現金及び現金同等物の期首残高	7,138	14,474
現金及び現金同等物の期末残高	14,474	12,217

◆ 連結株主資本等変動計算書 (2021年1月1日から2021年12月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 剩 余 金	利 益 剰 余 金	自己株式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	400	5,518	6,345	△ 1,120	11,143	69	△ 3	16	82	1,318	12,544
当期変動額											
剰余金の配当			△ 517		△ 517						△ 517
親会社株主に帰属する 当期純利益			951		951						951
自己株式の取得				△ 756	△ 756						△ 756
連結範囲の変動			△ 2		△ 2						△ 2
持分法の適用範囲の 変動			△ 51		△ 51						△ 51
株式交換による増加		11		24	36						36
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						63	0	△ 2	61	78	140
当期変動額合計	—	11	379	△ 732	△ 340	63	0	△ 2	61	78	△ 200
当期末残高	400	5,530	6,725	△ 1,852	10,803	132	△ 3	14	143	1,397	12,343

会社情報／株主メモ

■ 会社概要

商号	株式会社日本創発グループ
英文商号	JAPAN Creative Platform Group Co., Ltd.
事業内容	傘下グループ会社の経営管理およびそれに付帯する業務
設立年月日	2015年1月5日
本社所在地	〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6
資本金	400,000,000円
決算期	12月31日
会計監査人	PwCあらた有限責任監査法人
取引金融機関	みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
連結従業員数	2,771名(2021.12.31時点) ※臨時雇用者は含まれておりません。
顧問弁護士	荒山國雄法律事務所

■ 株式情報

証券コード	7814
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ
発行可能株式総数	160,000,000株
発行済株式総数	55,271,736株
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行
決算期	12月31日
定時株主総会	3月

■ 役員

代表取締役社長	藤田 一郎
取締役	鈴木 隆一
取締役	林 基史
取締役	菊地 克二
取締役	額賀 泰尾(社外)
取締役 監査等委員	瀬島 仁志(社外)
取締役 監査等委員	野沢 佳津夫(社外)
取締役 監査等委員	寺田 正主(社外)
取締役 監査等委員	篠崎 祥子(社外)
取締役 監査等委員	菅波 希衣子(社外)
取締役 監査等委員	徳田 佳代子(社外)
取締役 監査等委員	山下 あや(社外)
取締役 監査等委員	三好 真由美(社外)

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公告方法	電子公告 URL:http://www.jcpg.co.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、
当社企業グループをご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。

URL <https://www.jcpg.co.jp>

日本創発グループ

検索



■ グループ中核概念

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

Mission

ビジョンの実現に向けて、
日本創発グループがなすべきこと

Value

ビジョンとミッションの下、
日本創発グループが
お客さまや社会に提供する価値

We Craft Your Imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

チームワーク お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、ベスト・パートナーとなることをめざします。そのためにも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技 私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質 納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳のない高い品質を実現します。

プラスαの追求 私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える成果をお届けし、その笑顔を見ることが。もっとその笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

我が事として 私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力 私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と会社が結びつき、切磋琢磨している集団です。そこに息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しながら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ 私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、今まで見たことのないカタチでターゲットの心に刻みつけていきます。

良き市民 私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

表紙写真について

①		②
③	④	
	⑤	⑥
	⑦	⑧

- ①茶系飲料の生産時に出る、茶殻をリサイクルした袋。お茶特有の爽やかな香りや消臭・抗菌効果があるだけでなく、SDGsにも貢献できる製品です。
- ②2D、3Dで、キャラクターをはじめとする良質なゲームグラフィックスを制作。ユーザーから愛されるコンテンツ作りの一端を担っています。
- ③国内屈指の製本設備を完備。特殊な機械などもあり、お客さまの多様なニーズに応えられる規模感で、業界内でも高い信頼を得ています。
- ④「ムー」や「GetNavi」など、幅広いジャンルの雑誌やWEBメディアを創出。ファンの心に刺さるコンテンツで、世界をもっと楽しくします。
- ⑤「プラシエルファイル」は、卵の殻を51%含有する新素材「PLASHELLシート」で作った、エコなクリアファイル。SDGs推進、CSR活動のアピールにもなります。
- ⑥商品の魅力を最大限に引き出すデザインや素材で作られた什器・パッケージ。お客さまの「欲しい!」という気持ちを生み出します。
- ⑦3D環境でコンテンツ展示・ウェビナーを行った「デジフェス」会場の一部。XRスタジオも活用し、リアルとオンラインのハイブリッド展示も行いました。
- ⑧セールスプロモーション用のノベルティとして、ポーチやバッグを制作。商品やブランドの世界観を、さまざまな色・質感の布で魅力的に表現します。



SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

株式会社 日本創発グループ

〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6

TEL.03-5817-3061

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォント
を採用しています。